令和6年1月5日

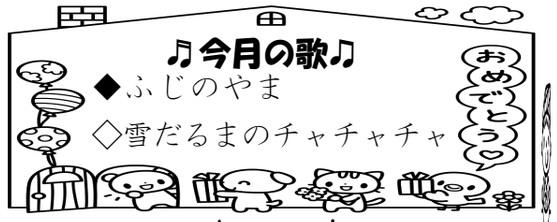
1月　ちびっこの森通信　vol.80

☆★今月のテーマ★☆

・冬の健康習慣を身につけて寒さに負けずに元気に遊ぶ
・お友だちと一緒にルールを守ってお正月遊びを楽しむ

～今月の園内学習～

・足し算･･･5の段
・掛け算･･･5の段
・絵画カード･･･「考える人」ほか
・声に出して読みたい日本語･･･
「たけくらべ」樋口一葉
・歴史カード･･･「伊藤博文」ほか
・国旗カード･･･ヨーロッパ地方②
・地理カード･･･中部地方



～行事予定～

・書道教室…5日・11日・18日・25日
・リトミック教室…9日（幼児）
23日（乳児）
・体操教室…12日（0･1歳児/3歳児）
26日（2歳児/4･5歳児）
・音楽教室(マンドリン)…15日
・英語教室…16日（幼児）
18日（乳児）
・身体測定…19日（幼児）
22日（乳児）
・お誕生日会…25日
・避難訓練…29日

～保育のポイント～

1997年5月、社会を震撼させた神戸連続児童殺傷、2004年6月の佐世保小6女児同級生殺害事件や2005年2月寝屋川小学校教諭殺人事件などの残虐な事件の低年齢化は日本だけでなく、今や世界的規模で起きているのが現状です。その要因を解き明かす一つの手がかりの1つが著されている「脳内汚染（岡田尊司著）」をご紹介します。まず、寝屋川調査（寝屋川市を中心に東京、大阪、長崎で対象者4,762人に対し、有効回答数3,555人）が紹介されていて、それは中学生とその保護者にメディアの影響を調査したもので長時間ゲームやネットに依存する子とそうでない子を比較した調査結果として前者が認知や情動、行動の傾向について以下の人格の特性が挙げれています。(1)否定的な自己像と現実的課題の回避、(2)対人関係における消極性、(3)二分法的な思考と過度な完璧主義、(4)対人不信感や基本的信頼感の乏しさ、(5)傷つきや復讐へのとらわれ、(6)自己特別視の傾向、(7)無気力･無関心な傾向、(8)依存心の強い傾向、(9)多動性、衝動性、不注意などが列挙されています。本書の内容を簡潔にお伝えできないもどかしさと「ネット主流時代」に逆行するような内容で恐縮ですが、ゲームやネットなどの映像メディアに(5～10年といった)長期間における連日長時間に及ぶ使用によって生じる影響（中毒）として、感受性低下による感覚麻痺で無気力･無関心になるとともに、過敏で傷つきやすいという相反する心理状況が内包されるとのこと。その為、人付き合い等を避けがちになるといった内閉的な傾向が強まっていくなどが記述されています。今後のデジタル社会におけるメディアとの関わり方について一考に値するのではないかと思い、ご紹介いたします。

「ひよこ」と「りす」組だより

先月末近くにようやく身震いする寒さで冬を実感できるようになりました。みんなが寒さなんかへっちゃらで元気に笑顔で外遊びに出掛ける姿はまさしく「こどもは風の子」だなと感心させられます。近くの公園で落ち葉や木の実を集め、「いっぱい！」と一仕事した満足そうな表情に癒されること暫しでした。最近は、0歳児は玄関口で自分で靴を手に取って履こうとする姿が見えたり、1歳児は外遊びの準備で上着、カラー帽子に靴下と必要なものを準備し、曲りなりにも自分でしようとする姿が散見されるようになってきたのに成長を感じています。ビックイベントのクリスマスでは見慣れぬサンタクロース姿に警戒心丸出し状態でしたが、次第に慣れて抱っこをせがむまでの順応性を見せていたのには驚きでした。クリスマスプレゼントもちゃっかりと手にして大満足の様子で何よりでした。寒さと乾燥で感染症等、気をつけながら元気に楽しく年明けをスタートさせていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

「きりん」と「こあら」組だより

季節外れの暖かさの狭間から急激な寒さが押し寄せ大変な冬ですが、こどもたちは程よい刺激を楽しむかのように元気に外へ飛び出して行く姿には改めて感心させられます。きりん組のみんなの心を虜にしているのは目下のところ”ブロック”。今までは一人遊びの集まりの並行遊び状態でしたが、自我確立が進んで他の子と一緒に協同して作品を作り上げていくようになってきたのは素晴らしいと感じています。一方、こあら組はジグソーパズルにはまっているようで、めいめいが机上にお気に入りのものを準備して真剣なまなざしで取組んでいます。最近は（端っこを埋める）完成までコツがつかめてよりスピーディに完成させるのに感心させられます。クリスマスでは毎日、関連楽曲を歌って当日を指折り数えるようにしていたので当日はサンタクロースの登場に歓喜で迎え、お目当てのプレゼントと行事食で大満足のひとときを過ごすことができたのは何よりでした。

「ひつじ」と「ぞう」組だより

先月初めから半ば近くまで感染症クライシスで園は大変でしたが、みんなの共助精神で何とか乗り切ることが出来てホッと胸を撫でおろすことができました。改めまして、皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。ひつじ組は運動会のパラバルーン競技で心を一つして取り組んだ経験がその後も引き継がれ、遊び一つにしてもお友だち同士の関係性がより強固に結ばれてきているように感じ、頼もしく感じています。とはいえ、コミュニケーションの行き違いから多少のぶっつかり合いも玉に瑕の日々です。ぞう組は就学期に向けた時間意識を根付かせる意味で時計の針を見て、見通しを持った生活を送る習慣が定着しつつある状況です。トイレ後に下着をズボンの中に入れるといった、身だしなみはひつじ&ぞう組の双方で頑張って取組み中です。クリスマス会ではサンタクロースへの返答に困る質問コーナーもあって大いに盛り上がり、待ちに待ったプレゼントを手にして笑顔が広がっていました。今年度も残り３ヶ月ですが、最後の仕上げができるように取組んでいきますのでよろしくお願いします。

～食事マナーで楽しく美味しくいただこう！～

本格的な就学生活に入る前の保育園で是非とも身につけておきたいことの一つに食事マナーがあります。今回は、ご家族の方と外食する機会もあると思いますので他の方への配慮は必要で、正しい食習慣の下で楽しい食事にも繋がっていくと思いますのでご紹介したいと思います。(1)食事の挨拶：これは動植物すべての命をいただくことに感謝するもので食前の手を合わせて「いただきます」に食後にも同様に手を合わせ「ごちそうさまでした」と元気に挨拶するようにしましょう。(2)食事の姿勢：噛むカや消化吸収にもいいことから椅子の奥まで座り、背筋がピンと伸びているかなどに気をつけていきたいです。(3)食事の食べ方：おロに食べ物を入れたらお喋りなどせずにおロを閉じて噛むようにしましょう。食べものがボロボロとこぼれる元ですし、ご飯とおかずと汁ものを交互に食べる三角食べで味覚を育てるようにしましょう。(4)食器や食具の使い方：茶碗などの食器は持って食べ、食具は月齢の発達に応じたものを無理なく使用できるようにしましょう。(5)食事中は立ち上がらない：食事中に立ち上がらないようにトイレは事前に済ませ、集中できるようにしましょう。幼児にありがちなのが「遊び食べ」ですが、これは行儀が悪いので集中できるようにしていきましょう。これらは園の食事中に適宜適切にお話していますのでお家でも同様にしていただけると食事マナーが身につくと思いますのでよろしくお願いします。